



2026年2月3日

各 位

会 社 名 ポ ー ト 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 春日 博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証 Q-Board)

問 い 合 わ せ 先 常 務 執 行 役 員 辻 本 拓
財 務 I R 部 長

TEL. 03-5937-6466

投資家Q & A 2026年1月

2026年1月に機関投資家様・個人投資家様より頂戴した主なご質問とその回答についてレポートいたします。

本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーの観点より、毎月第2営業日に開示を予定しております。また、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

エネルギー領域

Q. 一次調整力と比較して二次・三次調整力は収益性が低い傾向にあると思いますが、あえて二次・三次への参入も検討されている背景を教えてください。

A. 当社の基本方針は、一次・二次・三次の各区分の中から、その時々々の市場環境において最も収益性の高い項目を選択し、運用を最適化することにあります。収益性の低い取引を優先する意図ではなく、取引の選択肢を広げることで、蓄電池の稼働率と収益の最大化を図ります。

Q. 現在、稼働中の3ヶ所の蓄電所は、いずれも東京電力エリア向けでしょうか。また今後計画されている10ヶ所の蓄電所も東京電力エリアを主軸とされるのでしょうか。エリア分散に関する考え方を教えてください。

A. 現在、実証検証を行っている3ヶ所はすべて東京電力管内となります。一方、来期に計画している10ヶ所の追加展開においては、特定のエリアに依存するのではなく、各地域の需給状況に応じた収益機会を確保するため、東京電力エリア以外の他電力管内へのエリア分散を積極的に進める方針です。

Q. 上場企業で系統用蓄電所の一次調整力への接続・運用を実現している事例は限定的です。競合他社に先んじてこれを実現できた要因をどう分析されていますか。

A. 主に3つの要因があると考えています。第一に、3年前から大手電力事業者やメーカー出身の専門チームを組織し、用地仕入れから機器選定、アグリゲーター交渉まで最適な組み合わせを自社で判断できる知見を蓄積してきたことです。第二に、出力2MWという小規模分散型のサイズを選択していることで、接続検討や工期の短縮を実現したことです。第三に、助成金に依存しない投資判断を行うことで、迅速な意思決定とスピード感のある展開が可能となった点です。

人材領域

Q. 人材領域は高い成長性を誇る一方、収益モデルがワンショットモデルであるため、成長するほど全社のストック収益比率を下げてしまう懸念があります。人材領域でのストック化、あるいは全社の収益バランスについてどのようにお考えでしょうか。

A. ご指摘の通り、人材領域において成長を牽引している人材紹介事業は成果報酬型のワンショットモデルであり、これを無理にストック化させることは現時点では想定しておりません。HRteam社の子会社化により、新卒紹介市場で圧倒的No 1 のポジションを確立いたしました。今後も同領域でのシェア拡大を推し進めるとともに、既卒・第二新卒を含む20代若年層向けの人材紹介サービスも拡充していく方針です。

全社的なストック比率の向上については、人材領域の成長をコントロールして調整するのではなく、エネルギー領域や新規領域でのストック利益を積極的に拡充することでEBITDAに占めるストック利益の比率を高めていく方針となります。

会社概要

会社名 : ポート株式会社
代表者 : 代表取締役社長 CEO 春日博文
所在地 : 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー5 階
設 立 : 2011年 4 月
資本金 : 27百万円 (2025年 9 月末時点)
URL : <https://www.theport.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

ポート株式会社 : IR 担当
コーポレートサイト : <https://www.theport.jp/>
E-mail : ir@theport.jp TEL : 03-5937-6731

※当社ではリモートワーク制度を導入しております。
お電話が通じにくくなる場合がございますので、
お問い合わせはE-mail までお願いできますと幸いです。